

月曜日

10

福音で 幸^{しあわ}せな 私^{わたし}の家

きょうのみことば

創世記 37:1～11

兄たちは彼をねたんだが、父はこのことを心に留めていた。(11)

よく「私^{わたし}の家はなんでこんなのか」となやむときがありますか。ヨセフもそうでした。お母さんが早く死んでしまって、兄たちはヨセフをきらい、奴隷^{どれい}でエジプトに連れていかれ、よいことが一つもありませんでした。しかし、ヨセフはつぶやきませんでした。ヨセフは、神様といっしょにいる祝福^{しゅくふく}を味わっていました。問題^{もんだい}と傷^{きず}を土台^{どだい}にして、神様の大きな答^{こた}えを見つけましょう。

1. 家庭問題^{かていもんだい}の中にある真^{まこと}の祝福^{しゅくふく}を見つけましょう

問題^{もんだい}に会えば、力が抜けて気にさわるようになります。しかし、祝福^{しゅくふく}は問題^{もんだい}という仮面^{かめん}をつけてやってきます。問題^{もんだい}を通して神様がレムナントにくださろうとされる祝福^{しゅくふく}を発見^{はつけん}しましょう。ヨセフのように、家庭問題^{かていもんだい}の中に隠^{かく}されている神様の計画^{けいかく}を見つけましょう。

2. 家庭問題^{かていもんだい}でつぶやけば失敗^{しぱい}します

ヨセフとちがって、兄たちは家庭問題^{かていもんだい}におちいってしまいました。レムナントは、ヨセフの兄たちのようになってはいけません。問題^{もんだい}の中で、大きく、きれいな器^{うつわ} (規律^{きりつ}) を準備^{じゅんび}しながら、祝福^{しゅくふく}の奥義^{おくぎ}を見つけなければなりません。

3. 家庭問題^{かていもんだい}を越えて世界^{せかい}へ向かいましょう

ヨセフは父であるヤコブの愛を受けながら、カナンで幸^{しあわ}せに暮らしていました。しかし、神様はヨセフが家庭問題^{かていもんだい}から抜け出して、エジプトの総理^{そうり}になって世界^{せかい}を福音化^{ふくいうか}することを願^{ねが}われました。アブラハムを呼ばれた時にも、はじめから「あなたの子孫^{しそん}が国々^{くにくに}を生かすようになる」とおっしゃったのでした。福音には、世界化^{せかい化}の思想^{しそう} (グローバル思想^{グローバルしそう}) が含まれています。福音ですべての★理念^{りねん}と★思想^{しそう}、葛藤^{かつどう}を越えなければなりません。

★理念^{りねん}: 理想的^{りそうてき}だと思われる考え

★思想^{しそう}: あることに対して持っている具体的^{ぐたいてき}な考え

私^{わたし}の家の問題^{もんだい}を福音の目で見、ヨセフのようにビジョンをにぎる大きな奥義^{おくぎ}を味わわせてください。そして、グローバル思想^{グローバルしそう}を持って、すべての理念^{りねん}と思想^{しそう}、葛藤^{かつどう}を越えることができますように。イエス様のお名前によってお祈^{いの}りします。アーメン

★定刻^{ていこく}祈りの点検^{てんけん}: 昼 12 時 □—教会のために祈りましょう。夜 9 時—RUTC のために祈りましょう



The Lord is peace

アドナイ・シャロム

士師 6:24 そこで、ギデオンはそこに主のために祭壇を築いて、これをアドナイ・シャロムと名づけた。これは今日まで、アビエゼル人のオフラに残っている。

ヨセフのように家庭内に問題が多いですか。自分のために戦うと思って、自分につぶやかず、家庭問題を解決することができない私の弱い姿に気をとおさずに、アドナイ・シャロムという単語を学びながら、家庭問題の中にある神様の祝福を発見してみましょう。聖書の士師記を見れば、ミデヤン人がイスラエルの民を苦しめる話が出てきます。神様はこの時、ギデオンを士師として呼んでミデヤンと戦えとおっしゃいました。しかし、ギデオンは、自分自身の弱さを思ってため息をつきました。そして、死ぬかと思って恐ろしくなったのです。その時、神様の御使いが話しました。「わたしがあなたとともにいる。あなたは、まるでただひとりと戦うようにミデヤン人の軍隊と戦って、簡単にはねのけるだろう。安心しなさい。恐れてはならない。あなたは死なない」このとき、ギデオンが神様に祭壇を築いて、その祭壇をアドナイ・シャロムと名づけました。アドナイ・シャロムとは、平和の神様という意味です。

問題がやってきたとき、おそれますか。心配になりますか。キリスト・イエスが、そのすべての問題をみな解決されました。そして、このようにおっしゃったのです。

「おそれてはならない。大胆でありなさい。この世があたえることができない平安をわたしがあたえよう」



火曜日

11

きょうのみことば

使徒 13:2~3

彼らが主を礼拝し、断食を
していると、聖霊が、
「バルナバとサウロを
わたしのために聖別して、
わたしが召した任務に
つかせなさい。」と
言われた。そこで彼らは、
断食と祈りをして、
ふたりの上に手を
置いてから、送り出した。

神様が導かれます

はじめて行く友だちの家に行こうとしたら、いちばん簡単な方法は、友だちについて行くことです。しかし、ひとりで探して行くとするなら、大変で、あちこち聞いてみないといけないでしょう。人生という道も全能なる神様に導かれれば、すべてのことが簡単です。

1. だれに会うかにしたがって答えがちがいます

バルナバと伝道者パウロの出会いを通して、多くの人が救われて教会に集まるようになりました。レムナントが福音を持った友だちと交わって、正しい先生の教えを受けて、また本当に福音を伝える伝道者に会ったとすれば、すでに最高の答えを受けたことです。

2. 今から聖霊の導きを受けるために悩んでみましょう

どんなことをしても、心配せずに聖霊の導きを受けましょう。私は実力と力がたりなくて、弱いのです。それで、完ぺきにすべてのことを教えてくださって、保護してくださって、愛して下さる恵みの聖霊の導きを受けなければなりません。聖霊の導きを受けるために悩むのは不信仰ではありません。聖霊の導きを受けるために悩むレムナントは、祝福を受けます。

3. だめだと思える時が大きい答えを受ける時です

何かうまくいかなければ、大部分の人はがっかりします。しかし、その時が大きい答えを発見するもっとも良い機会です。無条件に無理に行動せずに、神様に祈ってみましょう。それでは、なぜだめだったのか悟るようになって、より一層、正確な聖霊の導きを受けるようになります。

神様、神様の子どもとして呼んでくださって、出会いの祝福をあたえてくださって感謝します。いつも聖霊の導きを受けるために悩んで、神様の計画を発見するレムナントにならせてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

※定刻祈りの点検：昼 12 時 □ 教会のために祈りましょう。夜 9 時 — RUTC のために祈りましょう



しんでん 神殿を

立てよう

ダビデ王が夢で描いた神殿をソロモン王が立てるようになりました。ソロモン王が神殿を最初に立てたのです。1～20の点をたどって、ソロモン王が立てたエルサレム神殿を完成してみましょう。



水曜日

12

きょうのみことば

マルコ 3:13-15

そこでイエスは十二弟子を任命された。それは、彼らを身近に置き、また彼らを遣わして福音を宣べさせ、悪霊を追い出す権威を持たせるためであった。(14-15)

自己キャンプとはなんでしょう

日本が韓国を植民地にしていた時代に、女性として韓国の最初にアメリカ留学のため出たパク・エステル先生は、最初の女医でした。先生は、病気で治療を正しく受けることができない韓国の人々のことを思い、韓国に戻ってきてすぐ 10 ヶ月間、三千名を超える患者を見ました。しかし、自分の健康を守ることができず、34歳の若さで、肺結核でなくなりました。

1. 時間を決めて祈りましょう

他の人をたくさん生かそうとするなら、自分自身を世話しなければなりません。人々が私を伝道者だと言っても、私が福音を味わうことができないならば、何のやくにもたちません。最も良い時間を決めて、私の中にいらっしゃる神様で満たされるように味わう時間を持ってみましょう。この時、不信仰が離れて新しい力を得ることができます。これが、まさに自己キャンプです。

2. いつでも神様と通じるように祈りましょう

世の中の現場に出て行けば、津波のように押し寄せてくる多くの問題とぶつかるようになります。それで、へたすると、不信仰に陥ることもあります。ですから、現場でいつでも祈りながら信仰を選択しなければなりません。

3. 私の人生の主人はだれでしょうか

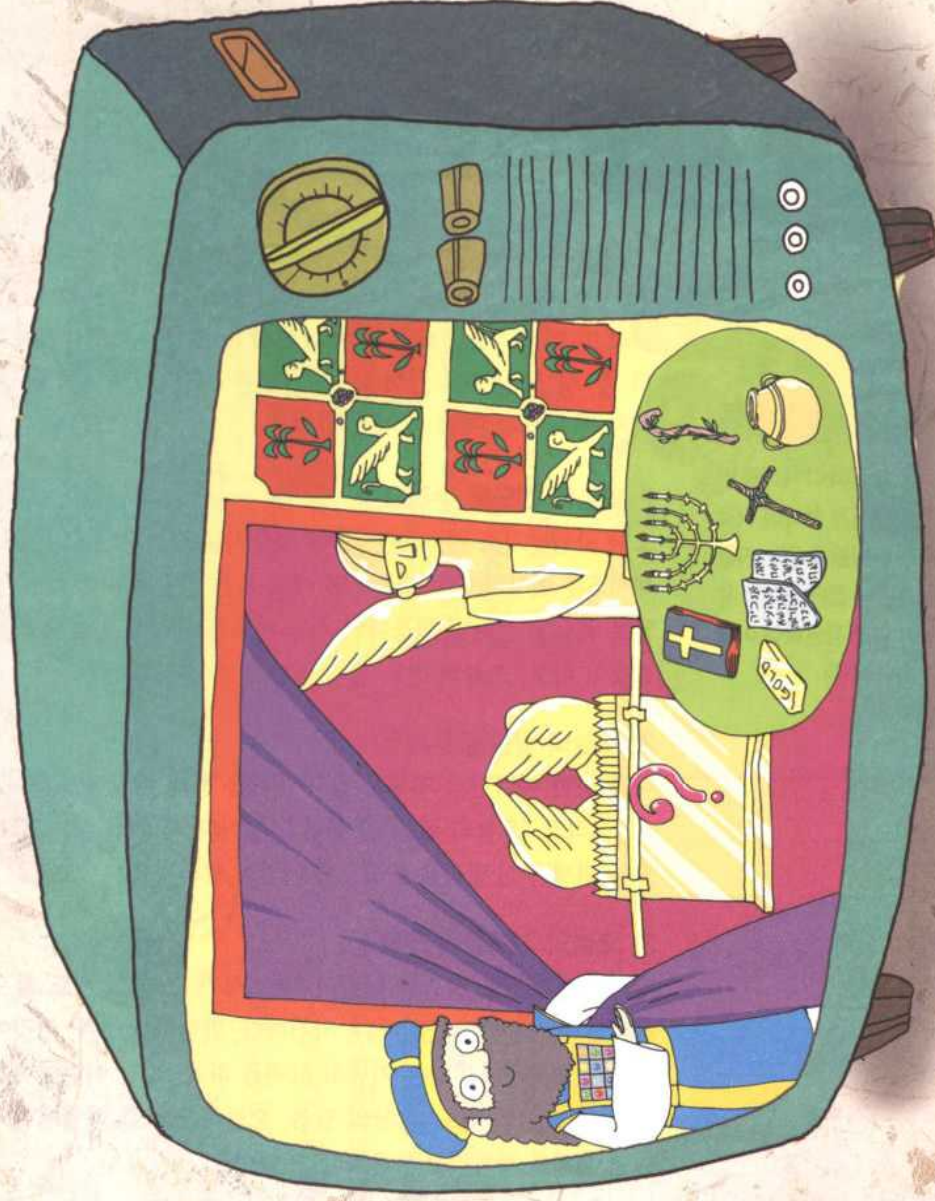
サタンはゲームに中毒になったり、友だちがきらいな子どもたちの心に、すきをねらって失敗する人生を生きるようにさせます。しかし、みことばをにぎって祈るレムナントには、決してすきをねらうことができません。いつも私とともにいるために、神様が私を呼ばれたという事実を忘れないで、いつも勝利しましょう。

愛の主よ、インマヌエルの奥義を味わうレムナントにならせてください。私の人生の主人がイエス・キリストであることをいつも認めて、定刻・常時・礼拝祈りを通して、聖霊に満たされるようにしてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

※定刻祈りの点検：昼 12 時 □ —教会のために祈りましょう。夜 9 時—RUTC のために祈りましょう

なにが はいつて いますか？

ソロモン王がとうとう
エルサレム神殿^{じやん}をすべて
立てました。契約^{けいやく}の箱^{はこ}の
中になんが入^{はい}っているの
でしょう。契約^{けいやく}の箱^{はこ}の
中に入^{はい}っているものを
3つ見つけて、まるを
つけてください。



3つの生き方を味わいましょう

木曜日

13

パウロは、アジヤに行くためにすべての準備をしました。しかし、神様はアジヤではなく、マケドニアに行くようにと言われました。パウロは、神様の導きにしがってマケドニアの最初の都市ピリピに行きました。そこには、紫布の商売をしているルデヤが備えられていたのです。

きょうのみことば

使徒 16:6-15

そして、彼女も、またその家族もバプテスマを受けたとき、彼女は、「私を主に忠実な者とお思いでしたら、どうか私の家に来てお泊まりください。」と言って頼み、強いてそうさせた。(15)

1. 今日の伝道を味わいましょう

今日、救われることに定められた人がだれなのかは、私たちにはわかりません。それで、5分以上会うすべての人に福音を伝える準備をしなければなりません。ことばで福音を伝えるのがむずかしいならば、伝道資料を準備してプレゼントしてみてください。それがまさに「今日の伝道」を味わう方法です。

2. 今日のみことばを味わいましょう

私にむかった神様の計画を、定刻礼拝を通して毎日、毎日、さがしてみましょ。そして「今日のみことば」をにぎって、毎日新しい力を得ましょ。今日、私にくださったみことばをにぎれば、朗白が変わります。

3. 今日の祈りを味わいましょう

神様の計画を発見したレムナントが「今日の祈り」を通して神様に集中すれば、瞬間ごとに、事件ごとに、出会いごとに「あっ、これが神様の働きだな!」という喜びの告白をするようになります。レムナントが、もし今日の伝道、今日のみことば、今日の祈りを毎日、毎日、見つけたら世界を征服して福音化できます。

神様、福音の根をおろして、今日の伝道、今日のみことば、今日の祈りを味わわせてください。インマヌエルの答えを味わう福音の主人公として、しっかりと立つことができるようにさせてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

※定刻祈りの点検：昼 12 時 □ —教会のために祈りましょ。夜 9 時—RUTC のために祈りましょ



愛の神様、私は罪人です。

サタンにだまされて、神様を知らずに生きてきました。

でも、今、この時間に私の心の門を開いて、イエス様を

私の主人としてお迎えします。そして、イエス様が私の

すべての罪を十字架でかわりに血を流してくださって、

すべての問題を解決してくださったキリストであると信じます。

今から、永遠にいつもともにいてください。イエス・キリストの

お名前によってお祈りします。アーメン

お友だちへ！

あなたに知ってほしいのです

愛するお友だちのへ

地面の上で生きている魚を見たことはある？

水の中にいる鳥は？

空を飛んでいる木は見たことがある？

魚は水の中に、鳥は空を、木は地面に深く根をおろして
生きていることが、あたりまえであるように、人間にも

変えることができない真理があります。それは、神様の
かたちとして造られた人間は、神様とともに生きれば
幸せだということです。



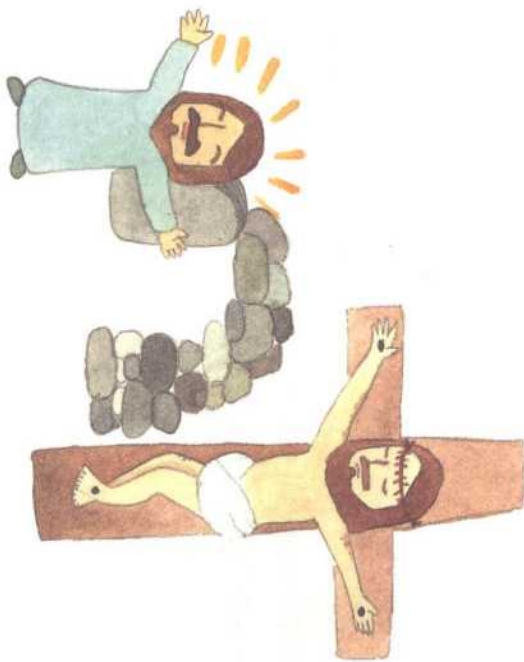
ところが、問題が起きたのです！



サタン（悪魔）にだまされて、人間が神様からはなれてしまったのです。また、罪をおかして、のろいとほろびを受けるようになってしまいました。そのときから、人間は、6つの問題に引かれるようになったのです。



- 1つ目、悪魔の子どもになりました。
- 2つ目、健康を失くすようになりました。
- 3つ目、精神の病気になるようになりました。
- 4つ目、肉はの病気になるようになりました。
- 5つ目、死んで地獄に行くようになりました。
- 6つ目、この問題が子どもたちに相続されるようになりました。



この問題を解決するためにイエス様が

キリストとして来られたのです！

イエス様は、神様に会う道を開かれた「真の預言者」、イエス様は、私たちの罪のすべてをゆるしてくださる「真の祭司」、イエス様は、悪魔のしわざをほろぼされた「真の王」です。この方を心の主人としておむかえすれば、神様の子どもになります！ 私についていっしょにお祈りしましょう！

金曜日

14

せい どうき 聖なる動機

とてもうまくしようとすると、緊張してしまって失敗しやすいです。むしろ、いつも練習をしている時のように、おちついた心であれば、もっとうまくすることができます。

きょうのみことば

コリント 7:10

神のみこころに添った
かなしみは、悔いのない、
すく救いに至る悔い改めを
生じさせますが、世の
かなしみは死をもたらし
ます。

1. 私^{わたし}の欲^{よく}とよくない動機^{どうき}を捨てましょう

動機^{どうき}とは、どんなことでも、それをはじめようになったきっかけをしめすことばです。行き過ぎた動機^{どうき}は、他のこと^{ほか}を見ることができない余裕^{よゆう}がないようにさせてしまいます。それで、失敗したり、恥^{はじ}をかくなるのです。

2. 福音^{ふくい}の動機^{どうき}で新しく挑戦^{ちっせん}しましょう

動機^{どうき}をすべて捨てて、そのまま生きていくのが神様のみこころでしょうか。そうではありません。新しい動機^{どうき}を持たなければなりません。新しい動機^{どうき}とは、福音^{ふくい}の動機^{どうき}のことです。「どのようにすれば、福音^{ふくい}をよく伝えられるのかな」どのようにすれば、私^{わたし}たちの後輩^{こうはい}(次世代)を助けられるだろうか」と考えるのが、福音^{ふくい}の動機^{どうき}です。福音^{ふくい}の動機^{どうき}を持つ時、伝道^{でんどう}の門がパツと開かれて、いっしょにいるすべての人が生かされます。

3. 世界^{せかい}を生かす聖なる動機^{どうき}にぎりましょう

RUTC は、考えの幅^{はば}を大きく広げて、時代^{みくらい}を福音^{ふくい}化する聖なる動機^{どうき}にぎるためにするのです。世の中の文化^{ぶんか}を見ながら、文化^{ぶんか}を福音^{ふくい}化する動機^{どうき}を心に抱くためにするのです。世界^{せかい}各国の理念^{りねん}と思想^{しそう}を見ながら、世界^{せかい}化思想^{くわーぶるしそう}(グローバル思想)を心を持つためにするのです。レムナントは、RUTC で正しい祈り^{いのち}を学んで、信仰^{しんこう}人らしく、教会^{きょうかい}を正しく理解^{りかい}して、専門性^{せんもんせい}をよくそろえた世界福音^{せかいふくい}化の証人^{しょうにん}として立たなければなりません。

神様、神様のみこころどおりに生きる信仰^{しんこう}をあたえてくださって感謝^{かんしやう}します。福音^{ふくい}の動機^{どうき}を持って、世界を生かすレムナントとして正しく生きることができるよう導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈り^{いのち}します。アーメン

✽ 定刻祈りの点検^{てんけん}: 昼 12 時 □ 教会のために祈り^{いのち}しましょう。夜 9 時 □ RUTC のために祈り^{いのち}しましょう



15日(土)

新品ヨシミ

7月1日(水)

新品ヨシミ

私の友だちのヨシミのあだ名だ。いつも新製品が出てくれば買うからついた呼び名だ。

ヨシミにはじめて会ったのは、小学校2年の時だった。私はその日のヨシミを忘れられない。ピンク色のカバンに有名メーカーのワンピースを着て、まるで王女様のようにだった。

ヨシミは、お父さんが毎年の誕生日に、外国からプレゼントを送ってくれるのだった。この前の誕生日には、任天堂DSをプレゼントとして貰ってもらい、ヨシミは、その高価なものを気にせずに友だちにも「あなたも一度、やってみたら」と言いながら貸すのだった。それで、ヨシミは、学校で人気が一番高い。顔もかわいいし、服もよいのを着て、勉強もよくできて、よいものを食べて暮らしていた。私はそのようなヨシミがとてもうらやましい。

7月17日(金)

ひさしぶりに<子どもの祈りの手帳>に日記を書く。今まで、ちょっといそがしかった。ところで、

私が今日、このように日記を



でいにくいの てんげん
★定刻祈りの点検：

昼 12 時 □ —

教会のためにいのちを祈りましょう。

夜 9 時 —

RUTC のためにいのちを祈りましょう

また書くようになった理由は、今日、「すごいこと」があったから。

学校の授業がみんな終わって、運動場を横切って出たら、遠くの運動場ベンチに座っているヨシミが見えた。私はヨシミのところに行って話しかけた。

「ヨシミ！ 家に帰らないで何をしているの」

「なんとなく、家には帰りたくないの」

「なぜ」

「パパとママが、いつもけんかをするから。この前にはパパが家を出て行ったの。

それで家に帰るのがいやなの。私はとても不幸なの」

ヨシミは突然、涙をばたばたと流した。私はとつぜん、今週の講壇のみことばを思い出した。本当に、**幸せ**はお金でも、力でも買うことができないということだ。

私は泣いているヨシミに話した。

「ヨシミ、今日、私の家に遊びに来ない？ 私の家に来たら、私が**幸せ**を**プレゼント**してあげることができるから」

ヨシミは顔を上げて、私を見上げた。私はにっこりと笑って、ヨシミの手を引っぱって行った。

家についたら、ママがヨシミを喜んでむかえてくれた。そして、ヨシミにすべての問題を解決されたイエス・キリストについて話してくれた。ヨシミは、目を**キラキラ**させて、ママの話を聞いていた。

ヨシミは、今日から神の子どもになった。

もうヨシミは、**新品**ヨシミではない。

神の子どもヨシミだ。

